

馬 埋蔵文化財最新発掘調査情報 馬

◆朝霞市では、現在69か所の遺跡が存在しています。

川や緑が多く都心にも近い朝霞市においては、宅地造成やマンション建設など大規模開発工事が多いため、記録保存のための発掘調査が数多く行われています。そのなかで、最新の調査成果をお伝えします。

ふるやしきいせき 古屋敷遺跡第3地点

調査地：朝霞市溝沼七丁目地内

期間：令和3年7月7日～8月6日

調査面積：83.22㎡

◆今回の調査では、溝跡と土坑、ピット等が確認されました。

遺物は、縄文土器、弥生土器、土師器、素焼土器、陶器が出土しました。

今回の調査でも、第1・第2地点で確認された溝跡と関連があると思われる溝跡が確認されました。上幅約4.5m・下幅約2.6m・深さは約1.5m、断面は逆台形を呈するなど、第1・第2地点で確認された溝跡とほぼ同規模でしたが、今回は調査区を東西に横断し、第1・第2地点の南北に縦断する溝跡と直行する形で検出しました。時代を特定できる遺物の出土はありませんでしたが、第1・第2地点と同規模の溝跡が同様に掘り込まれていることから同時期（中世以降）の溝跡と考えられます。溝跡が遺跡内をどのように廻っているかは不明ですが、今回の検出状況から、縦横に掘られていたことが推測できます。

この規模の溝跡となると、地割りや根切りといった溝跡の規模を優に超えており、可能性の一つとして、大きな屋敷の周囲に廻らされていた溝跡（堀）などが考えられます。【古屋敷遺跡】という名が示すように、遺跡内のどこかに屋敷が存在していた可能性も考えられ、今後の発掘調査が待たれます。



古屋敷遺跡第3地点 位置図



第1地点で
検出された溝跡

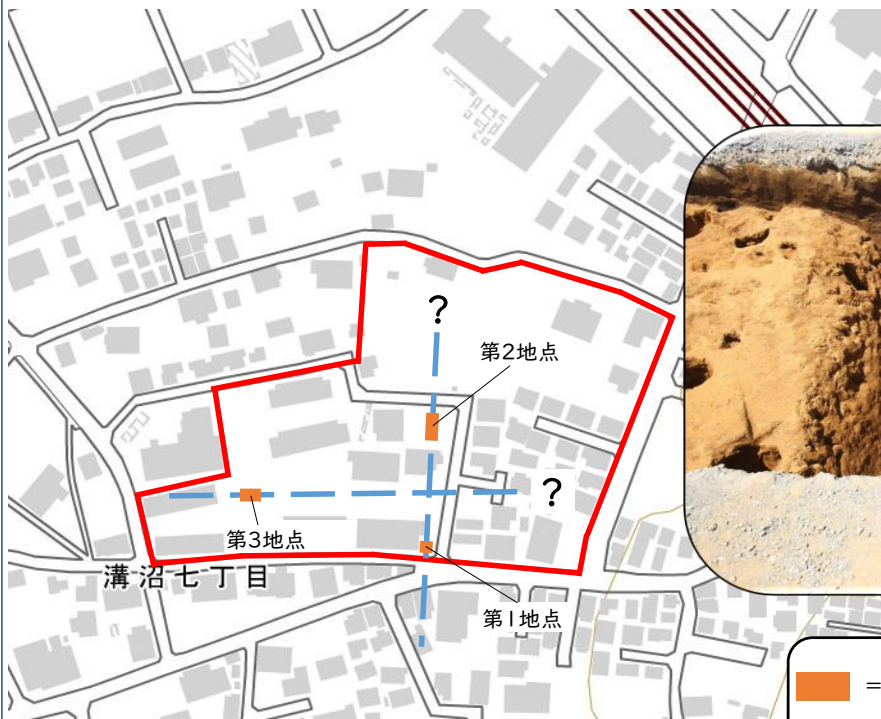
どういふ風に溝跡
が掘られていたの
かな？



©むさしのフロントあさか



第3地点で
検出された溝跡



溝跡の検出状況

■ = 検出された溝跡
--- = 推定される溝跡の
方向

※第2地点で検出された
溝跡は、Vol.7をご覧ください。

